

コロンビア川を望むワイナリー「CaveB」。荒涼とした土地に大河の水を潤すという知恵をもって、広大なワイナリーが誕生した。ワイン職人・ラスティー氏は日々、土壌やブドウの様子に心を傾ける。生み出された手づくりワインの味わいは……噛みえがたい。



ス・本村明子 撮影/石垣雅博

米国北西部の大地との対峙

アメリカの農業史といえは、多くの人は、果ても見えぬほどの農地に巨大コンバインが黒い線を思い浮かべるかもしれない。それが米国北西部地域では、それをなすともいえる農業が営まれ、恵みの源となる。大地、土との対峙が連続と続けられてきた背景に、なりの地理的、歴史的な特徴が、さかのぼると約1700年、米国北西部は無数のプレートが重なり、火山が噴火し、地殻変動を繰り返していった。やがて長い氷河期を経て、地域一帯を閉じた水が、一気に解け出す時期を幾度となく迎える。時速100マイルという超スピードで水流が荒れ狂う、約1万2000~1万8000年前に発生した大洪水のために、米国北西部は、さまざまな地層・地質を有する一帯となった。それが遙か後世において、農作物・食品生産に大きく影響することになる。

大地と、土と対峙する人々

たとえば、ワイナリーにおけるブドウ栽培ワシントン州クヴィンシーにあるCaveBは、総敷地面積700エーカー。この「CaveB」が位置する場所

アメリカの農業史といえは、多くの人は、果ても見えぬほどの農地に巨大コンバインが黒い線を思い浮かべるかもしれない。それが米国北西部地域では、それをなすともいえる農業が営まれ、恵みの源となる。大地、土との対峙が連続と続けられてきた背景に、なりの地理的、歴史的な特徴が、さかのぼると約1700年、米国北西部は無数のプレートが重なり、火山が噴火し、地殻変動を繰り返していった。やがて長い氷河期を経て、地域一帯を閉じた水が、一気に解け出す時期を幾度となく迎える。時速100マイルという超スピードで水流が荒れ狂う、約1万2000~1万8000年前に発生した大洪水のために、米国北西部は、さまざまな地層・地質を有する一帯となった。それが遙か後世において、農作物・食品生産に大きく影響することになる。

こころ、土に語りかけ、挑む人間の英知を限りなく感じさせる地である。眼下に悠々と流れるコロンビヤ川、けれど、その兩岸は荒涼とした岩肌が高くそそげ延々と続く。ここにまがきか、ブドウを植えるようとしていた人が、驚きを感じ得ない。

ところが、そこがブドウの木の不思議である。むしろ、見が荒れ果てたように見える土壌ほど、よく育つのだという。「CaveB」内には4タイプの火山灰質の土壌が見いだせる。それぞれ土壌タイプと、園内の敷地高低差を活用して15種類のブドウの木を植え、収穫時期を見極め、手作業による丁寧なワイン造りが行なわれている。

こころ、土に語りかけ、挑む人間の英知を限りなく感じさせる地である。眼下に悠々と流れるコロンビヤ川、けれど、その兩岸は荒涼とした岩肌が高くそそげ延々と続く。ここにまがきか、ブドウを植えるようとしていた人が、驚きを感じ得ない。

ところが、そこがブドウの木の不思議である。むしろ、見が荒れ果てたように見える土壌ほど、よく育つのだという。「CaveB」内には4タイプの火山灰質の土壌が見いだせる。それぞれ土壌タイプと、園内の敷地高低差を活用して15種類のブドウの木を植え、収穫時期を見極め、手作業による丁寧なワイン造りが行なわれている。



地元産の食材をふんだんに使い、魚介類は丹精の初めの川で地産地消が獲った鮭など、すぐさま土上に乗るといふ。

また、ワシントン州のワイナリー「CaveB」内のレストラン「テンドリール・レストラン」では、料理長フェルナンド・デヴィエナ氏が手がけるシエスカ・テンで、食材となる野菜・ハーブ類を栽培、水も送る。

2006 No.454

Menu & Management 繁盛店を作る雑誌

近代食堂

12

今年、この店が大ブレイクした理由

どうやって時代の波にのったのか？

特選
【食料の値上がり】問題

ヒット商法最前線

- ★7月高から激減へ「東京の爆点」を大追求
- ★最新鋭のネットマーケティング徹底
- ★「イリヤン」が「人気が」が人気を大暴走

今月の必勝ランチ
冬場に評判！あったかランチメニュー

好評連載
「手書きチラシ」作成&活用術

